

登録コード	FSJ41500	開講年度	2026				
授業題目	応用生物科学特論					担当教員	保地 眞一
英文授業名	Topics in Applied Biology					副担当	小笠原 寛
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士1、2年
講義室	繊維10番講義室		授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					⇔	【授業の達成目標】
	26FS初・繊維学						
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力、さらにそれを発展的に応用できる能力					⇔	一般的な農学の全体像を概観し、基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力、さらにそれを発展的に応用できる能力を身につける
	【専攻】専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力					⇔	専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力を身につける
	【専攻】専門分野における深い学識に基づく、卓越した実践的技術力および研究能力					⇔	専門分野における深い学識に基づく、卓越した実践的技術力および研究能力を身につける
(2)授業の概要	応用生物科学分野に関連する集中講義や研究講演が実施される。研究講演に関しては、外部の講師の先生、および応用生物科学分野の教員2ー3名により、特別研究講演が実施される予定である。						
(3)授業計画	本授業は、外部からお招きする講師の先生による集中講義（12月中旬または2月上旬に実施）、および応生教員2-3名による特別講義（研究講演会）により構成される。 R8年度は、外部講師として自然科学研究機構 生理学研究所の小林俊寛先生をお招きして実施する。本集中講義では、幹細胞生物学、発生工学の基礎に加えて、試験管内での生殖細胞作製や幹細胞からの個体発生などの次世代生命工学についても論じていただく予定である。 また、応生教員による特別講演については現時点では詳細不明であり、追って主・副担当から、履修学生に詳細な情報が通知される。						
(4)成績評価の方法	外部講師の先生の集中講義を受講し、先生のご指示のもと、レポートや小テスト、グループワークによるプレゼンテーションなどを実施する可能性がある。詳細は外部講師の先生の指示に従い、課題を期限内に提出して評価を受ける。 また、応生教員による特別講演にも出席し、そこで課されるレポートなどの課題を期限内に提出する。						
(5)成績評価の基準	各講義のレポートや小テストを総合的に判断して、それらが「水準にある」、「水準よりやや上にある」、「水準よりかなり上にある」、「水準から見て卓越している」と判断される場合、それぞれ、可・良・優・秀とする。講義を欠席する、もしくはこれらに満たない場合は、不可とする。						
(6)事前事後学習の内容	各講師の指示に従ってください。						
(7)履修上の注意	集中講義形式で実施する。基本、対面による講義を予定しているが、感染症等の影響でオンラインで実施する可能性はある。						
(8)質問,相談への対応	メールにて、主担当の山本（ymmthrk@shinshu-u.ac.jp）、あるいは副担当の保地（shochi@shinshu-u.ac.jp）まで相談してください。						
(9)授業の形式	令和8年度は、全行程を対面で実施する予定である。しかし、新型コロナウイルス感染症等の状況次第では、Zoomを利用したライブ講義やeALPS経由でのオンデマンド配信による実施もあり得る。						
(10)学生へのメッセージ							
【教科書】							
【参考書】							